

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和4年 6月 23日

公表:令和4年 7月 1日

事業所名 チャイルドハート東海岡崎

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	一階(学習)と二階(活動)でスペースを分けています。適切にスペースがとれるよう工夫しています。	二階(活動)スペースを半分に区切り、座って行う活動をする場所と身体を動かして遊ぶ場所に分けています。活動人数が多い時には、安全面を考慮し、一階での活動を提供するなど工夫していきます。
	2	職員の配置数は適切である	6	0	法令が必要とされている職員配置に加え、指導員または児童指導員を配置しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2	段差はありませんが階段があるため、手すりを設置しています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	毎月会議の中で話し合い業務改善を進めています。朝礼や終礼だけでなく、共有ノートを活用し非常勤職員も周知できるよう工夫しています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	年一回の評価表と、不定期でアンケートを行っています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	ホームページにて毎年7月頃、更新・公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	1	同法人で月に一度会議を行い業務改善に繋がっています。	外部の第三者評価は行っていないため、今後検討して行こうと思います。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	毎月法人内での職員研修、新人研修、中堅研修などを行っています。外部での研修も積極的に参加させて頂いています。	
適切な支援	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	個別支援計画書の更新時だけでなく、送迎時やその日の様子をお伝えすることで情報共有図っています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	法人内で統一された様式を使用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	職員会議で話し合い活動内容を立案しています。研修でなまんだことを共有しながら支援に繋がっています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	一月の発達目標を決め、それに沿った活動内容を計画し、固定化しないよう工夫しています。会議の中でそのように発展させていけるかを考え、活動の見直しを行っています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0	ある程度のスケジュールは決まっていますが、内容は随時話し合っています。	

支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	利用者様の状況にあわせて課題を工夫しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	朝礼時に役割や支援の確認を行っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	終礼時に支援等の振り返りを行っています。非常勤職員にも伝わるよう共有ノートを活用しています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	支援終了後に業務日報やケース記録の入力、共有ノートへの記入をしています。	支援終了後すぐに記録できない場合でも、翌日には記録することを徹底していきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	最低三か月に一回(中間・終期)のモニタリングを行っています。送迎時や毎日の記録を通して保護者の悩みや家庭での様子を伺っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	6	0	ガイドラインの研修を随時実施し支援に取り入れています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	0	各学校の先生方と送迎時に支援に関する事や学校・事業所での様子を共有しあい、相互理解を深めています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	0	アレルギーのある利用者様には医師からの指示書を頂いています。	現在は受け入れていませんが、今後検討していく必要があると考えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	3		保護者様を通じて情報提供をお願いしていますが、今後はより一層、相互理解を深めたいと思います。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	1		事例はありませんが、該当者が存在した時には保護者様の許可を得てから提供していこうと考えています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	研修に積極的に参加しています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	5	現在は感染症拡大防止のため行っていませんが、以前は子どもの家やデイサービスと交流をしていました。	世の中の状況にあわせて、交流する機会を設けていこうと考えています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	1		連絡会の開催自体が中止が続いていますが、開催された時には参加をしていく予定です。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	送迎時や日々の記録を通して状況や課題について共通理解が持てるよう留意しています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	0	送迎時や日々の記録を通して必要な助言や家庭でできる支援の提供をしています。	職員全員が同じような知識を習得するまでに至っていないので、今後も研修を重ねていきたいと思っています。
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	2	契約時にご説明すると共に事業所内に重要書類を掲示しています。		

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	事業所内相談支援や懇談会を不定期に行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	1		現在は感染症拡大防止のため大々的には開催できていませんが、ママ会やイベントに招待をし、保護者同士の連携がとれるような場を設けたいと考えています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	苦情受付体制を整えるほかに、頂いた苦情に対しては迅速な対応をしています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	会報等は発行していませんが、システムの中で活動の様子や様々な情報を発信しています。	
	35	個人情報に十分注意している	6	0	鍵付き書庫で保管しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4	現在は事業所周辺のゴミ拾いをする際、積極的に挨拶をするよう心がけています。	最近は、避難訓練などの際にご一緒に訓練に参加いただけるように、近隣にお住みの方に声をかけています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	最低半年に一回避難訓練を行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	マニュアルを元に最低一年に一回研修を行っています。	どのようなことが虐待になるのか、今後も周知徹底していきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0	最低年に一回研修を行っています。重要事項説明書・個別支援計画書に記載し、契約時には丁寧に説明しています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	全ての利用者様のアレルギーを確認しています。職員全員が周知できるよう一覧にして掲示しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	ヒヤリハット事例が起こった際にはヒヤリハット報告書を作成・保管し、職員間で情報共有しています。	